

現状の課題	本システム導入後
<p>2023年度には、当社管内のスマートメーター設置率が約100%（700万台）となり、スマートメーターの通信途絶や通信品質確保に係る障害対応の増加が想定されるため、保守業務を効率的に実施する必要がある。</p>	<p>スマートメーター通信障害等の初期対応において、当該設備の情報把握に複数のシステムを利用していたが、本システムの活用により一元的な把握が可能となり、業務の効率化が図られた。</p>
<p>通信不安定個所の改善検討時において、複数のシステムから収集した数値情報では通信経路をイメージすることが難しいため、改善検討の高度化や効率化が必要である。</p>	<p>スマートメーターの通信障害発生時は、通信経路と通信状況を同一の地図上に表示し、航空写真等も利用することで、現場に出向く前に机上での原因予測や対策の検討が可能となり、業務の高度化・効率化が図られた。</p>

【システム概要】

